



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 日新製糖株式会社
 コード番号 2117 URL <https://www.nissin-sugar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大場 健司

TEL 03 - 3668 - 1293

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 12,617 | 1.6 | 911 | 14.3 | 964 | 12.3 | 637 | 12.8 |
| 2019年3月期第1四半期 | 12,828 | 1.8 | 1,063 | 77.7 | 1,099 | 21.6 | 730 | 12.8 |

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 528百万円 (26.9%) 2019年3月期第1四半期 722百万円 (11.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | 28.87 | |
| 2019年3月期第1四半期 | 33.09 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 61,092 | 50,966 | 83.4 |
| 2019年3月期 | 62,235 | 51,188 | 82.2 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 50,966百万円 2019年3月期 51,188百万円

(注) 2020年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 36.00 | | 34.00 | 70.00 |
| 2020年3月期 | | | | | |
| 2020年3月期(予想) | | 35.00 | | 35.00 | 70.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり当期利益 |
|-----------|--------|---|-------|---|-------|---|------------------|---|--------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 第2四半期(累計) | | | | | | | | | 円 銭 |
| 通期 | 48,000 | | 3,200 | | 3,500 | | 2,500 | | 113.23 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期第3四半期まで日本基準を適用し、2020年3月期通期より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用するため、2020年3月期の連結業績予想についてはIFRSに準拠した数値を表示しています。このため、2020年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想および第2四半期(累計)と通期の増減率は、表示していません。

(参考) 日本基準の2020年3月期の連結業績予想

第2四半期(累計) 売上高 24,000百万円 営業利益 1,400百万円 経常利益 1,500百万円 親会社株主に帰属する当期純利益 1,000百万円

通期 売上高 49,000百万円 営業利益 3,200百万円 経常利益 3,400百万円 親会社株主に帰属する当期純利益 2,300百万円

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2020年3月期1Q | 22,673,883 株 | 2019年3月期 | 22,673,883 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2020年3月期1Q | 594,974 株 | 2019年3月期 | 594,935 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2020年3月期1Q | 22,078,928 株 | 2019年3月期1Q | 22,079,556 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (企業結合等関係) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、国内需要は設備投資の拡大や雇用・所得環境の改善を受け堅調に推移した一方、輸出や生産面では米中貿易摩擦や中国景気の悪化など海外経済減速の影響がみられ、全体的に力強さに欠ける状況となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12,617百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益911百万円（同14.3%減）、経常利益964百万円（同12.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は637百万円（同12.8%減）となり、概ね計画通り推移しました。セグメントの概況は以下のとおりです。

〔砂糖その他食品事業〕

海外原糖市況につきましては、値上がり材料として、主要生産国であるインド・タイの干ばつなどによる減産見通しがあり、値下がり材料として、足元の潤沢な在庫や米中貿易摩擦による海外経済の先行き懸念があったものの、大きな変化もなく当第1四半期を終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

| | 日付 | セント/ポンド | 円/kg | 為替（円/ドル） |
|-----|------------|---------|-------|----------|
| 始 値 | 2019年4月1日 | 12.53 | 30.97 | 112.10 |
| 高 値 | 2019年4月5日 | 12.84 | 31.93 | 112.81 |
| 安 値 | 2019年5月21日 | 11.36 | 27.84 | 111.17 |
| 終 値 | 2019年6月28日 | 12.32 | 29.55 | 108.79 |

（注）1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

一方、国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、前期末から変わらず上白糖1kg当たり187～188円で当第1四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、連休明けからの天候不順の影響により、飲料・冷菓などの消費が落ち込んだことから業務用製品は減少しました。また、家庭用製品は家庭内調理の減少が続き、砂糖全体の出荷量は前年同期を下回りました。

利益面では、物流費、エネルギーコスト等の増加が減益要因となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上高は11,389百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は828百万円（同12.4%減）となりました。

〔健康産業事業〕

健康産業事業におきましては、主に総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」、「NAスポーツクラブA-1」と女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA（ブレダ）」ならびにコンパクトジム「DO SMART（ドゥ・スマート）」、「A-1 EXPRESS」を運営しております。

前連結会計年度末に連結子会社化した株式会社エヌエーシーシステムが寄与し、売上高は860百万円（前年同期比45.5%増）となりましたが、同社取得に係るのれん償却額25百万円を計上したことおよび総合フィットネスクラブ既存店が、近隣への競合店出店による影響を受けたことにより、セグメント損失は10百万円（前年同期セグメント利益24百万円）となりました。

〔倉庫事業〕

倉庫事業におきましては、冷蔵倉庫、普通倉庫ともに引き続き好調な貨物の在庫水準を維持し、売上高は367百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は92百万円（同0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は24,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,028百万円減少しました。これは主に現金及び預金が1,386百万円、原材料及び貯蔵品が90百万円それぞれ減少した一方で、受取手形及び売掛金が221百万円、商品及び製品が199百万円それぞれ増加したことによるものです。固定資産は36,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円減少しました。これは主に有形固定資産が79百万円、退職給付に係る資産が35百万円それぞれ増加した一方で、のれんが83百万円、投資有価証券が144百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は61,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,143百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は7,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が496百万円、未払法人税等が509百万円、引当金が171百万円それぞれ減少した一方で、その他流動負債が399百万円増加したことによるものです。固定負債は2,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円減少しました。

この結果、負債合計は10,126百万円となり、前連結会計年度末に比べ920百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は47,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益637百万円および剰余金の配当750百万円によるものです。また、その他の包括利益累計額は3,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が97百万円減少したことによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は50,966百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円減少し、自己資本比率は83.4%（前連結会計年度末比1.2ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした緩やかな回復基調が続くものと見込まれる一方で、米中貿易摩擦などによる海外経済の先行き懸念による景気の下振れリスクが高まっております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、主力の砂糖その他食品事業におきましては、国内砂糖消費量の減少が続いているなかで、適切な原料調達と、市場の変化に臨機応変に対応し、採算を重視した販売に努めるとともに、ツキオカフィルム製菓株式会社等その他の食品分野における収益力拡大に努めてまいります。また、期首に見込んでおりました、設備投資関連費用および新製品の開発・調査費用等の増加は、概ね計画通り発生するものと見込んでおります。

健康産業事業におきましては、総合フィットネスクラブ既存店において、厳しい事業環境が予想されるなかで、24時間コンパクトジム「A-1 EXPRESS」柴崎店（東京都調布市）を2019年7月に開業いたしました。引き続き、ジム特化型小型店舗の「DO SMART（ドゥ・スマート）」や、「A-1 EXPRESS」の積極的出店により、増大する顧客ニーズの多様化・専門化に努めてまいります。

倉庫事業におきましては、冷蔵倉庫・普通倉庫ともに引き続き好調な在庫水準の維持、稼働率の向上に努めてまいります。

以上の結果、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,900 | 9,514 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,955 | 5,176 |
| 有価証券 | 3,600 | 3,600 |
| 商品及び製品 | 3,353 | 3,552 |
| 仕掛品 | 496 | 579 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,196 | 2,105 |
| その他 | 302 | 248 |
| 貸倒引当金 | △1 | △2 |
| 流動資産合計 | 25,803 | 24,775 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 8,606 | 8,606 |
| その他(純額) | 7,085 | 7,165 |
| 有形固定資産合計 | 15,692 | 15,772 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,815 | 1,731 |
| その他 | 217 | 212 |
| 無形固定資産合計 | 2,032 | 1,943 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 16,493 | 16,349 |
| 退職給付に係る資産 | 451 | 487 |
| その他 | 1,842 | 1,844 |
| 貸倒引当金 | △80 | △80 |
| 投資その他の資産合計 | 18,707 | 18,601 |
| 固定資産合計 | 36,432 | 36,317 |
| 資産合計 | 62,235 | 61,092 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,676 | 3,180 |
| 短期借入金 | 1,300 | 1,300 |
| 未払法人税等 | 844 | 334 |
| 引当金 | 353 | 182 |
| その他 | 2,008 | 2,407 |
| 流動負債合計 | 8,182 | 7,404 |
| 固定負債 | | |
| 引当金 | 198 | 108 |
| 退職給付に係る負債 | 137 | 141 |
| その他 | 2,529 | 2,472 |
| 固定負債合計 | 2,865 | 2,722 |
| 負債合計 | 11,047 | 10,126 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,000 | 7,000 |
| 資本剰余金 | 11,821 | 11,821 |
| 利益剰余金 | 29,486 | 29,373 |
| 自己株式 | △299 | △300 |
| 株主資本合計 | 48,008 | 47,895 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 896 | 798 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2 | 1 |
| 土地再評価差額金 | 2,191 | 2,191 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 89 | 79 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,179 | 3,070 |
| 純資産合計 | 51,188 | 50,966 |
| 負債純資産合計 | 62,235 | 61,092 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 12,828 | 12,617 |
| 売上原価 | 9,893 | 9,714 |
| 売上総利益 | 2,935 | 2,902 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,871 | 1,991 |
| 営業利益 | 1,063 | 911 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 40 | 9 |
| 持分法による投資利益 | 1 | 50 |
| その他 | 5 | 4 |
| 営業外収益合計 | 47 | 65 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 7 |
| 支払手数料 | 2 | 2 |
| その他 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 11 | 12 |
| 経常利益 | 1,099 | 964 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 0 |
| 特別利益合計 | — | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 18 | 1 |
| 特別損失合計 | 18 | 1 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,081 | 962 |
| 法人税等 | 351 | 325 |
| 四半期純利益 | 730 | 637 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 730 | 637 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 730 | 637 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △15 | △97 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6 | △0 |
| 退職給付に係る調整額 | △3 | △10 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 4 | — |
| その他の包括利益合計 | △7 | △108 |
| 四半期包括利益 | 722 | 528 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 722 | 528 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2019年3月31日(みなし取得日)に行われた株式会社エヌエーシーシステムとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しています。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、主として顧客関連資産の認識などにより無形固定資産のその他に80百万円、繰延税金負債に27百万円が配分されました。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額761百万円は、会計処理の確定により52百万円減少し、709百万円となっています。また、前連結会計年度末の無形固定資産のその他は80百万円増加し、投資その他の資産のその他は16百万円減少し、固定負債のその他は11百万円増加しています。

なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。